

# 平成29年度第1回講習会参加ご案内

## 「2050年のエネルギー需給を考える」

パリ協定の発効に伴い、エネルギー部門全体での低炭素化が世界的に求められています。そこで、日本においても、2050年の姿からそれまでに必要なエネルギー部門の対策（需要、再生可能エネルギー発電等低炭素エネルギーキャリアの導入、新たな電源構成による電力需給運用を踏まえたエネルギー全体の需給）の検討の強化が必要です。同時に、2030年長期エネルギー需給見通しを中間点として意識し、現在から2030年、2030年から2050年までのフォアキャストを組み合わせていくことが現実的と考えられます。

具体的には、将来の社会のマクロ条件、ライフスタイル、適用可能な技術とその普及を想定して、大きな変化が予想される電力システム、大幅なCO<sub>2</sub>削減が想定されている家庭・業務といった民生部門の需要動向と、エネルギーシステム全体を組み合わせた検討が有効です。

そこで、日本の温室効果ガス排出の2030年中期目標や2050年長期目標について、中長期的なエネルギーの選択とその影響についての理解を深めることを目的とした講習会を開催します。プログラムは、わが国における2050年のエネルギー需給検討状況のレビューを踏まえた上で、太陽光発電および風力発電の導入、家庭業務部門のエネルギー需要、電力需給、およびエネルギー需給に関する将来にわたる分析の紹介を予定しています。多数の参加をお待ちしております。

〔テーマ〕「2050年のエネルギー需給を考える」

〔定員〕60名程度

〔主催〕エネルギー・資源学会

〔協賛（予定）〕電気学会、日本エネルギー学会、日本太陽エネルギー学会、日本風力エネルギー学会

〔日時〕平成29年11月24日（金）12：50～18：00

〔会場〕(株)構造計画研究所 本所新館 地下1階レクチャールーム（東京都中野区中央4-5-3）

〔交通〕東京メトロ 丸ノ内線・新中野駅1、2番出口から徒歩1分

〔参加費（消費税込）〕正会員・特別会員、協賛団体関係者10,000円、学生会員3,000円、非会員15,000円

〔支払方法〕①銀行振込 りそな銀行御堂筋支店（普）No.1024046 ②郵便振替 00930-5-302948

〔申込方法〕学会HP「行事申込（[http://www.jser.gr.jp/form/form\\_02.html](http://www.jser.gr.jp/form/form_02.html)）」からお申し込み下さい。

下記申込書に記入のうえFAXでもお申し込みいただけますが、FAX送信後は必ずTELでご確認下さい。

〔申込・問合せ先〕〒550-0003 大阪市西区京町堀1-9-10（リーガルスクエア京町堀）

一般社団法人 エネルギー・資源学会 事務局（<http://www.jser.gr.jp>）

TEL 06-6446-0537 FAX 06-6446-0559 E-mail：webmaster@jser.gr.jp

----- キ リ ト リ 線 -----

一般社団法人 エネルギー・資源学会 平成29年度第1回講習会（11/24）参加申込書			
勤務先又は学校名		会員種別	1. 正会員 2. 学生会員 3. 特別会員 4. 協賛団体関係者 5. 非会員
所在地	(〒 - )	担当者	
		電話	- -
		FAX	- -
参加費	円 ( 名 ) 月 日頃	①銀行振込	②郵便振替
請求書	要 ・ 不要	領収書	要 ・ 不要
参加者	氏名		
	所属・役職名		
	E-mail		

※講演資料のダウンロードに必要なID/PWを送信しますので、E-mailアドレスをご記入下さい。

# 「2050年のエネルギー需給を考える」 講習会プログラム

〔司 会〕東京大学生産技術研究所エネルギー工学連携研究センター特任教授 岩船由美子  
エネルギー総合工学研究所プロジェクト試験研究部部長・副主席研究員 黒沢 厚志

〔次 第〕受付開始12：30 （注）持ち時間にはそれぞれ質疑・討論の時間を含みます（演題は仮題目、敬称略）

	12：50～12：55 開会挨拶・趣旨説明
1	12：55～13：40 総論：わが国における2050年のエネルギー需給検討状況 …東京大学生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター特任教授 岩船由美子
2	13：40～14：30 2050年における太陽光発電導入量の推定 …Mott MacDonald Japan プロジェクトマネージャー 松川 洋
3	14：30～15：20 2050年における風力発電導入量の推定と風力発電の制御機能 …東京大学生産技術研究所エネルギー工学連携研究センター特任研究員 齊藤 哲夫
	15：20～15：30 コーヒーブレイク
4	15：30～16：20 2050年における民生部門需要の分析 …大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻准教授 山口 容平
5	16：20～17：10 2050年における電力需給の分析 …東京大学生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター特任教授 荻本 和彦
6	17：10～18：00 2050年における日本のエネルギー需給分析 …エネルギー総合工学研究所 プロジェクト試験研究部部長・副主席研究員 黒沢 厚志

（内容、時間配分は都合により変更することもあります。ご了承下さい。）